

豆紙人形作家 故マサコ・ムトーさん

93年の人生 娘がつづる

自費出版「挑戦する勇気持って」

門司区出身の豆紙人形作家マサコ・ムトーさん（故人）の生涯をつづった書籍「人生いつでも花開く」を、作家で娘のヒロコさん（横浜市）が自費出版した。生前のマサコさんから聞いたエピソードに、時代背景を交えながら執筆。「母の人生を知って、挑戦する勇気を持ってもらえたらうれし」と話している。

マサコさんは1913年、旧門司市で生まれた。目が不自由ながらも、88歳のときに豆紙人形作家として活動を始め、93歳で亡くなるまでに300点以上を

創作した。作品の一部はJR門司港駅に展示されている。

ヒロコさんは昨年9月から、マサコさんが通った下関梅光女学院の当時の資料などを調べた。活発だったマサコさんの幼少期や学生時代、結婚生活で直面した困難や、豆紙人形作家になるまでの経緯を詳細に描いた。門司港駅の開業に合わせ、2月に自費出版した。

ヒロコさんは「母の手から、豆紙人形が生まれるまでのストーリーを知ってもらえる」と話している。「人生いつでも花開く」は野絵瑠社刊、223頁、1620円。（岩佐遼介）

●●●おくやみ●●●

年齢、住所、額は通夜日時、額は葬儀日時、斎場、喪主の順。掲載無料。受け付けは午後4時まで（0

人生いつでも花開く

夢は叶うもの 叶うものと思いつけるもの

マサコ・ムトーさんの生涯をつづった「人生いつでも花開く」

野絵瑠社

ヒロコ・ムトー著